

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(男児, 10歳未満)あります。型別はO157(VT1VT2)です。本年の累積報告数は45例となっています。詳細は下記ホームページをご覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は4.61(189例)で、前週 4.02(165例)から増加しており、2週連続で増加しています。全国でも同様に増加しています。例年、ノロウイルス感染を原因とする感染性胃腸炎が冬季に増加し、11月～1月にピークを形成しますので、今後の動向にご注意ください。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.24(51例)で、2週連続で増加しており、過去5年平均値を上回っています。「感染症法」が施行された平成11年4月以降の同時期と比較して、最も多い報告数となっています。例年、冬から夏前まで報告数が多い状態が続きますので、今後の動向に注意が必要です。
- RSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.90(37例)で、前週 0.78(32例)から増加しており、過去5年平均値を上回っています。「感染症法」において定点把握対象に指定された平成16年以降の同時期と比較して、最も多い報告数となっています。全国でも同様に最も多い定点当たり報告数となっています。

◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成25年7月から9月末までの報告数は、AIDS患者 1例, HIV感染者 2例の計3例で、40歳代 2例, 60歳代 1例で、すべて男性です。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 45例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.07	5
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.61	189
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.24	51
	③ RSウイルス感染症	0.90	37
	④ 水痘	0.80	33
	⑤ 手足口病	0.73	30
眼科	流行性角結膜炎	1.40	14

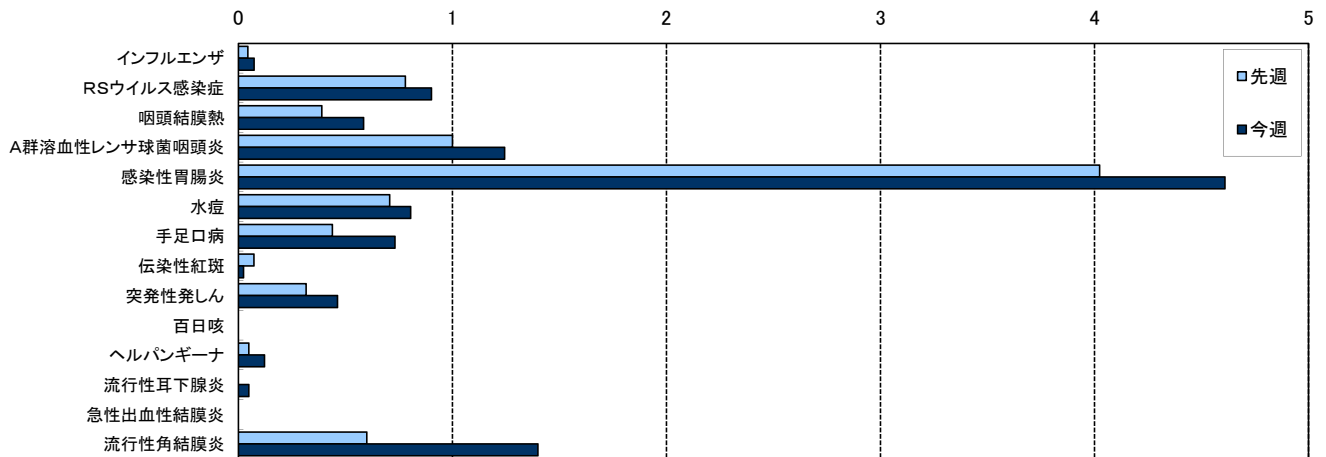
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

(注) 京都市のデータは、平成25年11月28日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

◆ 発生状況の概況グラフ

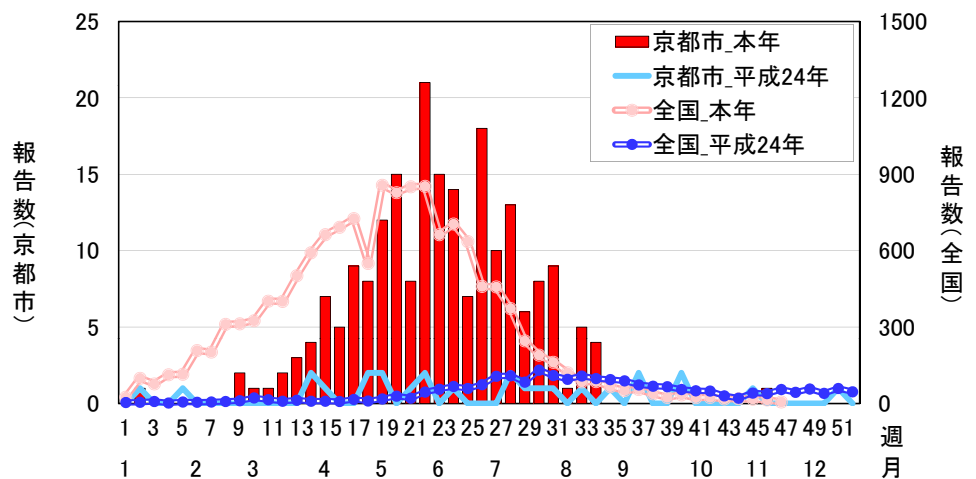
1 今週(第47週)と先週(第46週)の定点当たり報告数の比較



2 風しんの推移

今週の報告数(累積報告数)
平成25年11月28日現在

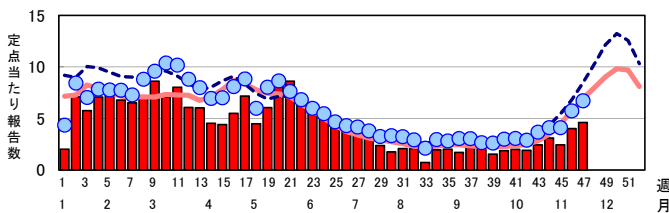
京都市	0例 (210例)
京都府(京都市を除く)	0例 (114例)
近畿6府県	0例 (5232例)
全国	17例 (14279例)



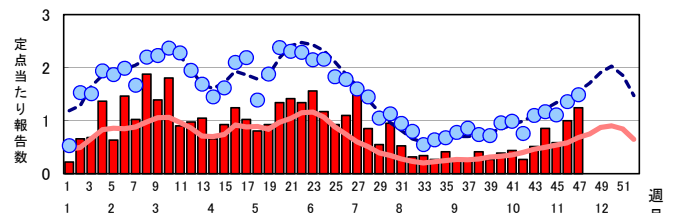
3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

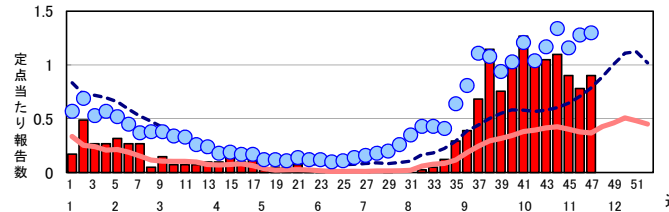
1 感染性胃腸炎



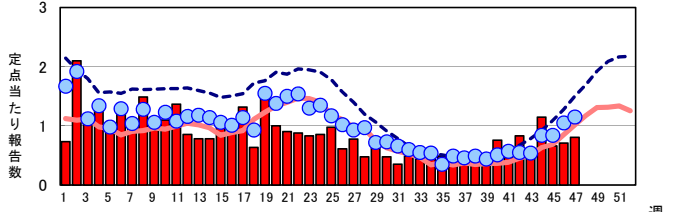
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



3 RSウイルス感染症

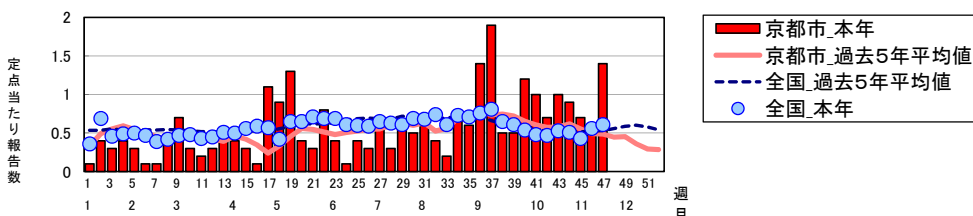


4 水痘



<眼科定点>

流行性角結膜炎



第47週(11月18日～11月24日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成25年7月から9月末までの報告数は、AIDS患者 1例、HIV感染者 2例の計3例で、40歳代 2例、60歳代 1例で、すべて男性です。推定感染経路は、すべて性的接触(同性間 2例、不明 1例)となっています。推定感染地域はすべて国内です。

平成25年1月から9月末までの累積報告数は15例(AIDS患者 6例、HIV感染者 9例)で、すべて男性です。年齢階級は20歳代 4例、30歳代 6例、40歳代 2例、60歳代 3例となっています。推定感染経路は、性行為感染が14例(異性間 2例、同性間 11例、不明 1例)、不明 1例となっています。

平成12年以降の累積報告数は208例で、性別は、男性194例(93.3%)、女性14例(6.7%)となっています。推定感染経路は、性行為感染が163例で、後天性免疫不全症候群全体(208例)の78.4%を占めています。中でも、同性間の性行為感染が97例と最も多く、全体の46.6%を占めています。

年次別報告数の推移

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
平成12年	6	3	3	5	1
平成13年	6	2	4	6	0
平成14年	9	4	5	8	1
平成15年	11	2	9	11	0
平成16年	21	2	19	18	3
平成17年	9	3	6	9	0
平成18年	25	8	17	23	2
平成19年	22	7	15	19	3
平成20年	21	6	15	18	3
平成21年	22	10	12	22	0
平成22年	17	6	11	17	0
平成23年	15	5	10	15	0
平成24年	9	4	5	8	1
平成25年(1月～9月)	15	6	9	15	0
総 計	208	68	140	194	14

推定感染経路別 年次別報告数の推移

